

じゃがいものうち」通信 NO.69 2011.7.25

～ 障害者と共に生きる仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel./Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL:<http://www.minc.ne.jp/npo-jaga> 代表 楯篤雄



しゃくなげ未来館との交流会
屋久島一周 遠足

共に生きる

今までもたくさんの災害や事故があったと思う。しかしこの度の東日本大震災の災害は、私自身生まれて初めて目にするとつもなく大きな災害であった。死者・行方不明、**二万五千人**の方々へ、まずお悔やみと深くお祈りを捧げます。家族や家、職場をなくされ、残された厳しい環境の中で、今も必死に生きようとされている方々が十数万人。日本だけでなく世界中からの支援の動きには驚かされました。それほどこの災害は人々の心を大きく揺さぶりました。被災者のことを思い義援金や支援物資を送り、いち早い復興を願うことはとても尊いことです。私達は障害児（者）と関わり、彼ら彼女らから命の大切さ、生きることの意味を数多く学ばせてもらってます。

「自立」とは「自分で出来る」ことだけではない、地域の多くの人達の中で「自分の選んだ生活が出来ること」と、ある人が語っていました。「障害者を助けよう」ではない、障害は人間の誰もが持つ個性の一面であり、「自分と同じである」という私達自身の内側の認識です。自分と他者が心の中で一つになる。これは人間がもともと持っている心で、私達の活動はその心を行為として表すことだと思えます。

原発からの放射能のことも思うと完全な復興まで何十年という気の遠くなる時間が必要になります。その間被災者や私達はどのように生きてゆくの。この災害を対岸の火事で終わらせるのではなく、被災地のことも思い、私達自身も奮い立たせ、地域の経済・環境・命、と全てが自立した生活を目指し、共に一步一步踏み出してゆこうと念じています。
(楯 篤雄)

みんなのおうちコーナー

6月誕生会

みんなのおうち利用者さん、スタッフともに誕生日を迎えるのが一番多い六月。激しい雨の続いた梅雨の合間のひとときを皆さんでゆったりとお祝いしました。利用者の浩三さんが十八番の『佐渡おけさ』を唄い、同郷の京さんがお国言葉で合いの手を入れて盛り上げてくれました。また京さん十八番の『白波五人男』与三郎役のお相手、お富さん役には昨年未までスタッフでじゃがいものおうち会員の宏子さんが抜擢、手ぬぐい姿で面白おかしい迷芝居を繰り広げられました。今回の誕生日メニューは調理スタッフ由美さんの手作りロールケーキと、エミさんの作った豪華うなぎプチ丼でした。また元気に年を重ねてご馳走を戴きましょうね。



七夕 星に願いを

7月7日は七夕さま...皆さんはどんな願い事をされましたか？宝くじで1億円当たりたい、湿気のこない畑付き一戸建てに住みたい、素敵な出会いがほしい、いやいや健康が一番！と様々な願いで、今年もお星さまはさぞかし忙しかったことでしょう。デイでは涼しげな七夕料理を満喫しつつ、短冊に思いの願いをつづられました。

今年利用者の古居一男さん、日高ユキ子さんが相次いで亡くなられ、寂しい七夕さまでしたが、きっとお二人が星となって見守って下さっていることでしょう。

一男さん 柔和な笑顔と頓知の効いたユーモア、柔かな手足から打ち返す風船バレーの華麗な技、麻雀で負けても勝っても静かに笑っている紳士でいらっしゃいました。
ユキ子さん 歌や踊りが大好きで見る者を魅了し、指で紅を引くなんとも色気のある所作まで、どこまでもお洒落で粋な女性でした。
お二人ともありがとうございました。ご親族の皆様、謹んでお悔やみ申し上げます。

お疲れさまでした！ 長瀬富美子さん

看護師の長瀬さんが6月末をもって退職されました。みんなのおうち開所からのスタッフとして利用者さんの健康管理をはじめ、栄養満点の美味しい食事も作ってくれました。また誕生会などのイベントで、一見おとなしそうに見える風貌からは想像もつかない弾けっぷりで、歌に踊りと場を盛り上げてくれましたね。3年にわたりデイを支えていただきありがとうございました。



後任の看護師として7月より吉村さんが来られています。

7月7日から、木曜日、土曜日に働く事になりました。今年1月19日、千葉から引っ越してきました。新米のおばあさんナースです。

皆さんから、種々と学びながら、ゆっくり一歩一歩と、暮して行ける事を目標にしています。よろしく願います。
(吉村保子)



2011年度の総会が去る5月22日（日）午後1時30分より尾之間管理センターで開催されました。出席者は、一般会員72名のところ当日の出席者16名、委任状による書面提出者22名、計38名の方々でした。出席者は少なかったのですが、熱心に議案の審議が行われ、下記の2案件は満場一致で承認となりましたが第3号議案については取り下げられました。

- 第1号議案 2010年度活動報告
2010年度会計報告
2010年度会計監査報告
- 第2号議案 2011年度事業計画（案）
2011年度予算（案）
- 第3号議案 定款変更（取り下げ）

【主な質疑】

現行喫茶の赤字をどう解消してゆくの、活動に積極的な意義が認められなくなった原因は？会計上のことなどが話し合わされ次年度の活動方針として新しい施設の立ち上げ案が出されたが、大きな計画案を話し合う時間が無く当日、資料として配布されたので会員の理解を得ることが出来ず改めて時間を作って話し合うこととなった。次回までに会員の意見や疑問を持ち寄り「じゃがいものおうち」の総意を作ってゆきたいと思っています。

☆総会をとおして！

総会は5月22日尾之間管理センター2Fホールで行われた。その日は屋久島に珍しくお笑い芸人が来てライブをしていた。そのせいかはわからないが、会員の出席は少なかった。去年

がとても長い時間、心身ともに疲れた総会であったので「今年はどうなるだろう...？」と少し心配しながら参加した。そして、総会が始まった...。細かな収支のことよりも普段聞けない、言えない質疑が出て議長を困らせてしまった会であった。（詳しくは総会報告をご覧ください）

私なりに総会でわかったことが三つあった。一つめは、理事と会員の気持ちのズレが生じていること。10年ほど前は「じゃがいものおうちの拠点作り！！じゃがいものおうちを知ってもらおう！！」と全員が一丸となりひとつの目標を持っていた。しかし現在「じゃがいものおうちの目標は？今度何してゆくのか？」と聞かれた時、全員が同じような目標を言えるのだろうか...？やるべきことが多すぎて会員の気持ちがまとまりにくくなっている。そしてまとめる強さがない。二つめは、遊びなのか？働き場なのか？

今までのように障害者が寄り添いみんなと一緒に行事をすることを考えると基本は「楽しさ」「人間の輪」である。しかし、障害者達の生活があるから遊びでは困る。楽しさは後回しである。総会で「昔は楽しかったね。ゆとりがあって...」という言葉に対して「遊びではない。就労につなげるのだから...」という言葉が返ってきた。その言葉が私の頭の中をグルグルと何度もかけめぐった。まるで羊のように...

三つめは、少人数の人達に負担と仕事が増えすぎている。人はやれるできる範囲に限りがある。作業、役割分担してその担当のリーダーが会員から出た知恵をまとめられたらいいのだが、人がいない。引っぱってゆくリーダーが足りない。以上私のわかったことでした。でもわかっただけで私なりの解決策などはみつかっていません。

さてみなさん！！話はかわって...あなたは どう思いますか？じゃがいものおうちが大きな壁にぶつかっています！！このまま勇気を持って突き進むべきか？立ち止まり力を蓄えるべきか？一歩後進して体制をたて直すべきか？一人一人がじっくり一度考えてみて下さい。どんな時でもいいです。皿洗いしながらでも...草抜きしながらでも...みんなが考えたら小さなキラッと光る道が見つかるかもしれません。

（山田由紀子）



【東日本大震災 被災地応援イベント】

4月17日(日)エコタウンあわほイベント広場

(参加者20名)

屋久島エコ・フェスタ主催のイベントに、屋久島NPOネットワークの一員として参加しました。「じゃがいものうち」は、得意のじゃがころ、タンカンジュース、リサイクル品やビーズアクセサリーなどで出店しました。同じテントに「しゃくなげ未来館」もかからん団子などで出店しました。PR不足の心配もありましたが大勢の人が来てくれましたので、売上から必要経費を除いた金額、40,067円を義援金として当日、日赤へ寄付いたしました。また「じゃがいものうち」に設置しました義援金箱の金額、127,689円と振込口座に振り込まれました義援金額、34,000円の合計金額、161,689円



につきましても、5月20日に日赤へ寄付しました。イベントと併せ義援金総額は、201,756円となりました。これも偏に、多くの理解ある方々や会員の皆様方のご協力のお陰と心より感謝致しますとともに、被災地の一刻も早い復興を願っております。なお大震災への支援も継続しておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

ウコン、ガジュツ収穫

4月6日(水)(参加者25名)

尾之間新里下の畑にてウコンガジュツ掘りをしました。約8アールの畑に植え付けられたウコンとガジュツ、晩秋の頃の草姿はみごとで屋久島の緑の力を感じました。小さな子どもたちも含め多くの参加者でにぎわいました。今回は宮之浦より参加された伊藤さんに感想をいただきました。

《ウコン収穫体験談》

友達から誘われ初体験のウコン掘り、上天気で暑い日射。早速たくさんの方が作業をしていた。機械で掘り起こす人、土を落としてキャリー箱に集める人、私も幼少の頃農家育ち、これ位の労働なんて・・・土を見るとまっ赤な粘土、こんな土でも育つ作物があるのか?と思い一株一株土を落として箱に集める。そのうち機械で掘り起こす困難もあり男衆がスコップで株をひっくり返す、屋久島ならではの手作業となった。さて皆さん、屋久島の方ですとウコンには「秋ウコン」「春ウコン」のあるのはご存じですよね。私は「ガジュツ」も「ウコン」も見分けがつかない移住者です。秋、春、



呼び名も屋久島に来てから教わった。それは呼び名だけの知識。同じ日に「秋」「春」収穫とは...ビックリ。呼び名が違う、収穫時期が違うのでは無く、根の形から色までまったく違うものでした。そこで学んだのは、ウコンの収穫だけでなく、人の人生それぞれが、どんな環境(土)であっても、生きてゆく力強さと、色形の違うウコンの様に、さまざまな個性に生み育つんだ。それにはたゆまない社会からの手助けと、多くの人のささえがあると、痛感した次第です。

(宮之浦助っ人隊 伊藤勝雄)

おおぼらかい

3月25日(金)癒しの第二弾「スプリングコンサート」(14名参加)

楽しい演奏ありがとうございました。ボランティアの裕子さん、千賀子さん、浩二さん、信裕さん達のお陰で楽しい会となりました。

4月26日(火)茶話会(12名参加)

今回は、ユキ子さんの退院を祝い、歌やお話しなどで盛り上がりました。また大震災というショッキングな出来事があり、身近な問題として、これからの生き方を考えるきっかけとなりましたとの話しなどあり、大変有意義な一日となりました。

5月24日(火)茶話会(13名参加)

新会員の方からライフスタイルや体験談など、大変貴重なお話しがあり、楽しい会となりました。

6月28日(火)屋久島研究講座：屋久島の歴史(15名参加)

今回は、文化村センターのご協力で「屋久島の歴史」について、安房在住の日高講師からジョークを交えた楽しいお話しをお聞きすることが出来ました。屋久杉の話や歴史上の人物など、手作り資料を駆使した分かり易いお話し、特に、昭和30年代の話になると皆さん当時を偲んで懐かしそうでした。今回の歴史を学ぶは、参加者の皆さんの熱心さが印象に残った一日となりました。ありがとうございました。



しゃくなげ未来館との交流会

6月1日(水)(5名参加)

毎年恒例になりました「しゃくなげ未来館」との交流会、今回はフォークダンスでした。フォークダンスの講師名田よどみ先生の指導の下、数十年ぶりのいい汗(冷や汗?)をかきました。音楽に合わせてダンス、みんなも楽しそうでした。初めてお会いした先生に、いきなり原稿をお願い致しました。

《楽しかったフォークダンス》

6月1日、安房公民館で、未来館の人達や「じゃがいものおうち」の人達と、フォークダンスを踊りました。ダンスが始まる前に、早く来た人達と自己紹介をしたり、色んな話をしました。(マダミ)ステップクローズ、ステップスイングゆっくりゆっくりと、(踊ろうボサノバ)元気よく腕を振りながら、時々手をつないで、顔を見合わせスマイル(ビリーブ)ああ未来の扉を開けると、口ずさみながら、みんなで輪になって(若草の髪飾り)両手をとり足を横後横とじと、間に拍手もパチパチ(オクラホマミクサー)学生の時に習った懐かしい曲、皆さん音楽に乗り新しいパートナーさんへ次から次へと、途中のティータイムでは自己紹介をしながら話も弾みお茶もケーキも美味しかった。おかわり!! 楽しい曲に合わせて体を動かし、いい汗をかきました。お昼のカレーも美味しかったです。楽しい一時を皆さんありがとう。また踊りましょう。(名田よどみ)

ここで少しだけ「しゃくなげ未来館」のことを紹介いたします。

しゃくなげ未来館は屋久島精神障害者家族会石楠花会が、屋久島で暮らす精神障害者の方たちの社会参加と自立を願い、平成13年に設立しもう10年になりました。家族会18名、ボランティア8名で運営をしています。自分らしく生き生きと暮らせるように仲間や家族、ボランティアスタッフが毎週水曜日に集まってミーティングや料理教室、草木染など様々な活動をしています。石楠花会の方たちも障害を持っていてもこの屋久島で安心して自分らしく暮らせる日を願っています。私達も共に手をつなぎ互いの「夢」実現に向け活動を続けたいと思います。

豚味噌作り

6月15日(水)(10名参加)

1月に作った豚味噌が無くなり、「早く作らないと」と思いつつこの日になってしまいました。大雨の中、ポンタン館の加工室では、額に汗してもくもくと豚味噌が作られました。作業に参加された上田奈緒美さんからの一文を紹介します。

《共に働いて》

ずっとずっと前から、障害者ってなんだろう?とっていた。ざっくりと、漠然と。ある時、ふと、障害ってという言葉が障害なんじゃないか?って感じた時があった。でも、そう感じた自分のことを、なんだかきれいな事を行っている上っ面だけの様な気がしていて、その思いは、まだはっきりと、つかみきれていないように感じていた。そして、「じゃがいもおうち」のみんなと、お仕事をさせていただくという、ご縁をいただいた。彼らと関わり、ふれあうことで、その思いは確かなものとなり、深いところからあふれてくるような思いとなった。わたしは、彼らから、



素晴らしいギフトをいただいた。彼らは、本当に真っ直ぐで、そのまま、きらきらに輝いている。とても真面目だったり、一生懸命だったり、謙虚だったり、素直だったり、とても素晴らしいのです。彼らの障害だと言われている、それは、個性なんだと感じる。彼らは、たしかに、上手に会話したり、器用な動きができなかったり、一人では出来ないこともたくさんある。正直、話が聞き取りにくかったり、何度も同じ話を聞かされると、めんどくさいなあー、なんて感じる時もある。でも、それは、障害者だからとか、健常者だからとか、そういったことは全く関係なくて、全てわたしの問題。ありのままの彼らを愛しく感じるように、ありのままの自分も愛しく感じられるようになった。不思議と、やさしい気持ちがあふれてくる。そして、障害という言葉や、自分ではないもの、という意識が、壁みたいなものをつくっていたこともわかった。障害者、健常者、あなた、わたし、という、壁のような、別け隔てるなにかが、どんどんぶっ飛んでいく。本当に、彼らは、わたしにたくさんのお話を教えてくれる。そして、彼らを支えるまわりの人達の、やさしさ、心の広さに、また、多くを学ばせてもらっています。きらきらな彼ら、やさしさ、愛がいっぱいの人達。そんなみんなが作っている豚味噌は、やさしさいっぱい、とてもとても美味しいのです。みんなと出逢えて、一緒にお仕事ができ、とてもたのしく、うれしいよ!みんな、ありがとう!

(上田奈緒美)

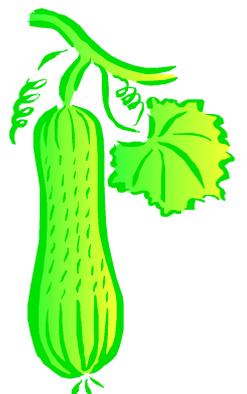
「じゃがいものおうち」意見交換会

7月24日(日) 尾之間中央公民館婦人老人室 午後1:30~3:30 (13名参加)

2012年度新事業開設に向け計画と準備を進めていますが、新事業への取り組みだけでなく、「じゃがいものおうち」発足から12年の歩みを振り返り、これからの取り組みに是非役立たせたいと考えて会員さんからたくさんの意見を頂きました。

理事会が示した短期・中期・長期の事業計画について、「時期尚早ではないか」「利用者の確保ができるのか」等の意見も出ましたが、この計画の内容の必要性はご理解いただけたいと思います。また、最後には「この事業計画は完璧」「理事長は腹をくくって、自己責任で、この内容に取り組むべき」といった意見も出しました。

今後、今回の事業計画の内容(特に予算面)について話合う必要があると思いますし、遅くない時期の臨時総会の開催も必要になると思います。これからも、会員の皆様のご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。



行事予定

尾之間温泉祭り出店

7月30日(土)尾之間管理センター

準備作業 じゃがころ皮むき作業は、当日の午後1時より「じゃがいものうち」にて行います。いつもの様に、包丁・まな板を持参して下さい。出店担当者は清潔な服装、三角巾又はスカーフとエプロンやはっぴを持参して下さい。

尚、出店準備は午後5時から始まります。

出店品目 じゃがころ、タンカンジュース、綿菓子、かき氷、お茶、射的、他

おおぼらかい

日時 7月26日(火)「茶話会」
8月23日(火)「茶話会」
(午後1時30分 ~ みんなのうちに)

お楽しみ感謝祭

8月28日(日)12:00~15:00

尾之間管理センター二階 いつもいろいろな作業や行事に参加していただきまして本当にありがとうございます。皆様の支援やご協力のおかげで「じゃがいものうち」の活動が支えられています。この日はその皆様への感謝の気持ちと暑気払いをかねてささやかではありますがカラオケや出し物で楽しい一時を過ごしたいと思えます。どうぞお誘い合わせのうえ奮ってご参加願います。をお待ちしています。

尚、昼食とお茶を用意しますので、参加される方は事前に「じゃがいものうち」までご連絡下さい。

「じゃがいものうち」 47-3588

街角情報コーナー

《いのちのエール!プロジェクト》

3月11日に起きた東日本大震災。自分たちに何ができるのかと、あの日から4ヶ月たつ今、少しでも被災された方々の気持ちに寄り添うようなところの支援も必要なのではと、現地に行けなくとも、できるだけ多くの方が参加できる形で屋久島からところの温もりを届ける支援が何かできないかと考えた「いのちのエールプロジェクト」です。

このプロジェクトは大きく二つの柱でできています。まず一つ目はいのちをテーマにした映画「いのちの山河」をみることで、東北のことを思い自分たちの暮らしのことを考えることも、ひとつの支援の形だと思えます。そしてもう一つの柱が、本で繋がる支援です。自分たちが人に贈りたい本、絵本、写真集などを大切に選び、寄付いただき、それを届けるという支援です。一つ目の映画上映会で売り上げたお金を、二つ目の本で繋がる支援の活動資金に充てたいと考えています。

映画「いのちの山河」上映会

日時 9月3日(土)19:00~開演 安房総合センター

9月4日(日)一回目 14:00~開演 宮之浦離島開発総合センター

二回目 19:00~開演 同上

問い合わせ先 「いのちのエール!」実行委員会事務局 屋久島まるごと保全協会 内室・佐藤
連絡先: vells.for.life@gmail.com / 42-1355 (内室) 又は46-4550 (ヒトメクリ・佐藤)

感謝録 (3月21日~7月24日 敬称略・順不同)

山田由紀子 戸床頭 戸床マサ子 田上ちなみ 太田久美 梶野かおり 岩川絹子 宮内美香
渡辺一夫 松本活栄 園原弘子 岩川ミヤ 楯陽子 松本三枝子 岩川ヒサエ 岡西誠次
藤田くにこ 鎌田暎夫 稲場輝雄 日高ユキ子 岩川チズ 有馬文代 須見洋子 後藤田由利美
左官登美恵 仁科富子 日高ゆかり 羽田順子 古屋浩三 安藤多鶴子 峰平耕典 渡辺まみよ
神崎彩子 酒井美穂 金子よしえ 北川清子 乾恵二郎 浪平幸枝 NPO法人こすも
畑下和子 高山宏子 岩川トク子 野口美恵子 鈴木由美 日高ヨリ 大原貞子 長瀬真弓
吉村保子 星野京 長瀬富美子 古居節子 長谷川英紀 小川裕子

会員の更新、新規加入ありがとうございました（50音順 敬称略7月24日現在）

いつも温かいご支援ありがとうございます。お陰様で私達の活動の原動力となっております。

一般会員（家族会員）

安藤多鶴子 石田尾拓夫 井原広悦 大山正典 大原貞子 小笠原勝弘 岡野道子 小川裕子 鹿島浩二 木下忍
桑山道子・善右衛門 相良知恵 佐々木澄江 四宮英代・岸慎子 柴田矢恵 高田忠幸 高見澤義男・信裕
高山宏子 谷本正和 立花敬麗・幸枝 楯篤雄・陽子・水生輪 塚田哲夫・君江 中井喜恵子 長瀬真弓 沼田澄江
羽田順子 畑下辰治・和子 福原勝利 藤島薫 星野京 藤山倉作・由美子 古屋浩三・芳子 松田正 松本活栄
峰平耕典 村上潤子 森永光子 吉田克雄・照子 吉田冬子 吉村加代子 脇田武志 渡辺一夫・まみよ

賛助会員

飯塚伸子 石間誠子 稲場輝雄 井上正勝 井上美代子 岩川絹子 岩川ミヤ 得平悦子 大垣千鶴 大山盛弘
太田美代子 岡村和子 加藤章 金子英一 川上雄治 川崎君子 川畑慎太郎 小林淑子 斎藤恵 笹川芳子
四宮澄江 須見洋子 芹沢政江 戸床マサ子 浪平幸枝 西迫貴子 仁科富子 日高新治 日高チズ 日高仁
(故)日高ユキ子 日高ヨリ 福島哲雄 藤井恵美子 (故)古居一男 堀内静子 松本裕子 三浦隆志 村本栄子
持原道子 山尾春美 山口康文 吉村保子

団体会員 木まま工房 杉の茶屋 屋久島ガス株式会社 屋久島町手をつなぐ育成会

【新会員紹介】皆さんよろしくお願ひ致します！

(一般会員) 吉村加代子 福原勝利

(賛助会員) 石間誠子 井上美代子 川畑慎太郎 小林淑子

四宮澄江 須見洋子 芹沢政江 仁科富子 吉村保子

訃報】お二人の御冥福をお祈りいたします

古居 一男さん (5月28日ご逝去、享年92歳)

日高ユキ子さん (6月25日ご逝去、享年86歳)



お二人はじゃがいものおうちの会員であり、みんなのおうちの利用者さんでした。

一男さんは、いつも紳士であり、ジョークの好きな、人に気遣いされる柔和で笑顔の素敵な方でした。

ユキ子さんは、歌や踊りが大好きで姉御肌、ちょっとした仕草にも艶っぽさを

感じさせるお洒落で粋な方でした。お二人に感謝、ありがとうございました。



喫茶コーナー

スタッフのお二人が都合によりお辞めになりました。長きにわたり大変お世話になり本当にありがとうございました。

お陰様で6月30日をもちまして無事に喫茶の勤めを終えることが出来ましたことは、これもすべて皆様方のご支援とご協力のお陰と存じます。

心から感謝いたします。そしてこれからもたくさんの方々が見茶へ遊びにきて下さることを願っております。皆様、本当にありがとうございました。(畑下和子)

お世話になりました。昨年11月から、母の介護をするために、喫茶の方をお休みさせていただいてましたが、諸事情により、私の当番の日を、他の方に代わっていただくことになりました。

お世話になって、2年3ヶ月と短い間でしたが、いろんな方に出会うことができました。それも「じゃがいものおうち」で仕事をしていなければ、多分出会うこともなかったかもしれない

方々・・・その方たちがされるお話に、笑ったり泣いたり・・・この2年3ヶ月間は貴重な時間でした。これからは、時々遊びに伺います。そして、せっかく出会えた皆様、私をどこかで見

かけたら、声をかけてください(^_-)- 本当に世話になりました。暑い日が続いております。熱中症などに気をつけご自愛ください。(安藤多鶴子)

編集後記

震災のボランティア支援に行っていた人が言っていました。「新聞やニュースで知るより、現地は本当に凄い状況だった。」現地を知らない自分は、入ってくる情報から精一杯の想像しているのですが、きっとそれ以上の状況がそこにはあるのでしょう。通信の持つ役割は、「じゃがいものおうち」が掲げている目標に、会員総意で向かってゆく為に活動の目的や報告を伝えてゆくことです。より想像しやすいように、よりリアルに伝える役割を強く感じています。(楯篤雄)